



# 2023年度賃金引き上げ等に関する申し入れ

## 会社回答に対する組合員・未加入者の 多くの声が集まっています！③

怒

・会社と社友会は一体。この状況でベア出たのはありがたいと宣伝してくると思うが、社友会を使って会社に感謝の思いを示させる。これは会社から社員への感謝を押し付けでしかない。・どうしたら我々の声を聞いてくれるのか！赤字を理由にベアを出して来なかったが、結局格差をつけるということはこれまでと会社の姿勢は変わっていないし、会社がやりたいことをただやっているだけで、生活実感や労働実感など声は受け止めていると言ってもこちら側からすれば聞いていないのと同じ。果たしてこれが真摯とか誠意を持って議論していると言えるのか。・社友会は、「私たちが幹部へお願いし、お願いした額より出してくれた。期待に答えよう」的な情報化するのは？出来レース。・低額相場を作り出した社友会の存在自体が本当に邪魔。・社友会の若手には、会社の視点・立場で考えるのではなく、本当の自分の現状・気持ちに気付いてほしい。・会社(経営側)の社会的な地位さえ守れば社員の生活などどうでも良いと考えている。社員の生活を考えない会社に発展などない。・社友会は1000円～3000円要求している聞いた。それ以上きたのだから返却すべきではなのか。・血の通っていない会社に帰属意識は生まれず、さらなる安全性の低下につながっていくと感じた。・会社から要求されたこと、社員は体現して、利益に繋げていくことは、自然なことだろうと思いますが、ただ、見えないゴールを延々と走らされているようにしか思えなくて、どうしたら組合の要求に達するための会社の考える水準や要求はどの辺りなのか。そろそろ示して欲しいです。コロナ禍はみんな必死に乗り越えてきました。黒字必達に向けて。言葉のいい建前ばかりで、本音で話してくれない会社と努力が報われないと気づいたとき、社員のヤル気が枯れてしまった時、どうなるでしょうか？みんな適当に手を抜き、なあなあと仕事をするとします。そうなると生産性向上もしないし、利益を上げてくとも出来なくなる。君たちの努力は足りない、成果は足りないとハッキリと言う事もせず、発破をかけることもせず、口当たりのいい言葉を並べても、誰の心に響くことはないでしょう。いくらAIが発達しようとも、マンパワーが必要であり、その人を蔑ろにしている、会社の持続的成長はないという危機感を経営者は持つべきです。・勉強会をやらせてもらって東労組の要求も理解した上で考えると少ないと感じる。勉強会がなかったら騙されていたと思う。社友会は大喜びですね。・JR連合の要求額、社友会の要望額からもわかる通り、本気でベアを求めているのは東労組のみ。東労組が頑張るほど役職の金額に開きが出るように持っていっている。・2018年から2023年までベア0、定昇カットも経験し20年前から年収46万も減。一方労働密度は過去最高であり黒字化にしてきたのは事実。会社回答を見れば、「将来にわたる生産性向上が原資」「守りから攻め」「改革の主体」「今まで以上にチャレンジ」ともって働けという主張だと感じる。・会社の回答で、貴側からすれば足りないかもしれないが...最大限の回答とある。社友会からは1000～3000円で要望がきてからそれよりも多いでしょ？納得できるでしょ？というのが会社の狙いなのだと思う。・今回の会社回答は社員の厳しい現状を受け止めたものではないと思うし明確な理由が述べられていないことから到底納得はいかない。世の中の流れに乗ったにすぎない。・回答書にあるが「有利子負債」「足元の業績動向及び中長期の経営の見通し」等と「経営」の目線を社員に押し付けている。・現場社員の本当の声に対して耳を傾けるべきだし、経営目標に対しての危機感よりも離職率の増加に対して危機感を感じるべきだ。・仕事のやりがいや幸福度は、賃金が第一の社員がほとんどだと思うので、一部ではなく全体的な意見を拾って欲しい。・日本経済新聞の「JR東日本がベア5957円、組合要求上回る29年ぶり水準」の記事を見ました。このままの記事では、新卒の社員に対して、労使の関係性が悪い会社というイメージが着いてしまい、人材確保に悪い影響があります。・経団連の副会長がいる組織とは思えないくらいに低い。これで魅力ある会社といえるのか。・要求への回答が曖昧だと思います。・なんかこれがホントにベアなのかなって感じます。世間体と就活生に向けてばかり聞こえのいいことが多くて、人間ドックのことなんてここでやる必要があるのかなと疑問です。・ドックの補助に関しても金銭的なことより通年の業務で体調やメンタルを崩す社員が増えていて、自分もいつできなくなるか分からない状態で業務を続けています。

**本当の声を発信できる東労組に結集しよう！  
本部へ声を届け、最後までたたかい抜こう！**